

まほろば秦野通信

令和元年11月26日

タイトル	秦野中ロータリークラブが 災害対応用資器材（土のう袋）を寄贈
When (いつ)	11月28日（木曜日） 午後3時から
Where (どこで)	秦野市役所本庁舎3階 市長応接室
Who (だれが)	秦野中ロータリークラブ（奥津 清会長） 会長ほか3名が市長を訪問
What (なにを)	台風等風水害時に使用する土のう袋（5万円相当）の現物寄贈
How (どのように)	
Why (なぜ)	10月に発生した台風第19号では、市内で甚大な被害が発生し、2,000袋以上の土のうを活用し、床下浸水等への未然防止対策等を行いました。 こうした背景から、奉仕の理念を奨励しこれを育むことを目的としている秦野中ロータリークラブから、今回の災害を受けて本市の防災・減災に協力するため土のうの寄贈があります。
今後の取り組み	寄贈される土のう袋は通常の袋と比べて強度があることから、土のうの作成に加えて、がれきの除去や伐採した枝の収納など多用途に活用できます。 また、毎年新採用職員を対象に災害用の土のう作成を行っていることから、寄贈された土のう袋を活用し、災害対応強化及び新採用職員の防災知識の習得に役立てます。
問い合わせ	防災課 防災担当 担当：木村 電話0463（82）9621